○第101回農薬専門調査会幹事会（公開）

日時：平成26年1月14日（火）14：00～15：45

議事概要：

（1）農薬（イマザピル）の食品健康影響評価について

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を2.8 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*除草剤で、樹木等に使用します。今回、大豆へのインポートトレランス申請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。また、飼料中の残留基準の設定が要請されています。

（2）農薬（カスガマイシン）の食品健康影響評価について

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.094 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺菌剤で、稲、キウイフルーツ等に使用します。今回、トマト、ピーマン等へのインポートトレランス申請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

（3）農薬（ホサロン）の食品健康影響評価について

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.002 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺虫剤で、すいか、なし等に使用します。今回、きゅうり及び茶への適用拡大申請がされています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

（4）農薬（ジフルベンズロン）の食品健康影響評価について

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.02 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正することとなった。引き続き動物用医薬品専門調査会で審議の予定。

*殺虫剤で、りんご、もも等に使用します。動物用医薬品としても用いられます。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

（5）農薬（シアゾファミド）の食品健康影響評価について

・審議の結果、一日摂取許容量（ADI）を0.17 mg/kg体重/日とし、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*殺菌剤で、ばれいしょ、ぶどう等に使用します。今回、水稻への適用拡大申請がされています。

（6）その他

- ・食品健康影響評価について調査審議する評価部会が以下のとおり指定された。

①マラチオン

- ・評価第二部会において調査審議することとなった。

- *殺虫剤で、稲、大豆等に使用します。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。また、飼料中の残留基準の設定が要請されています。